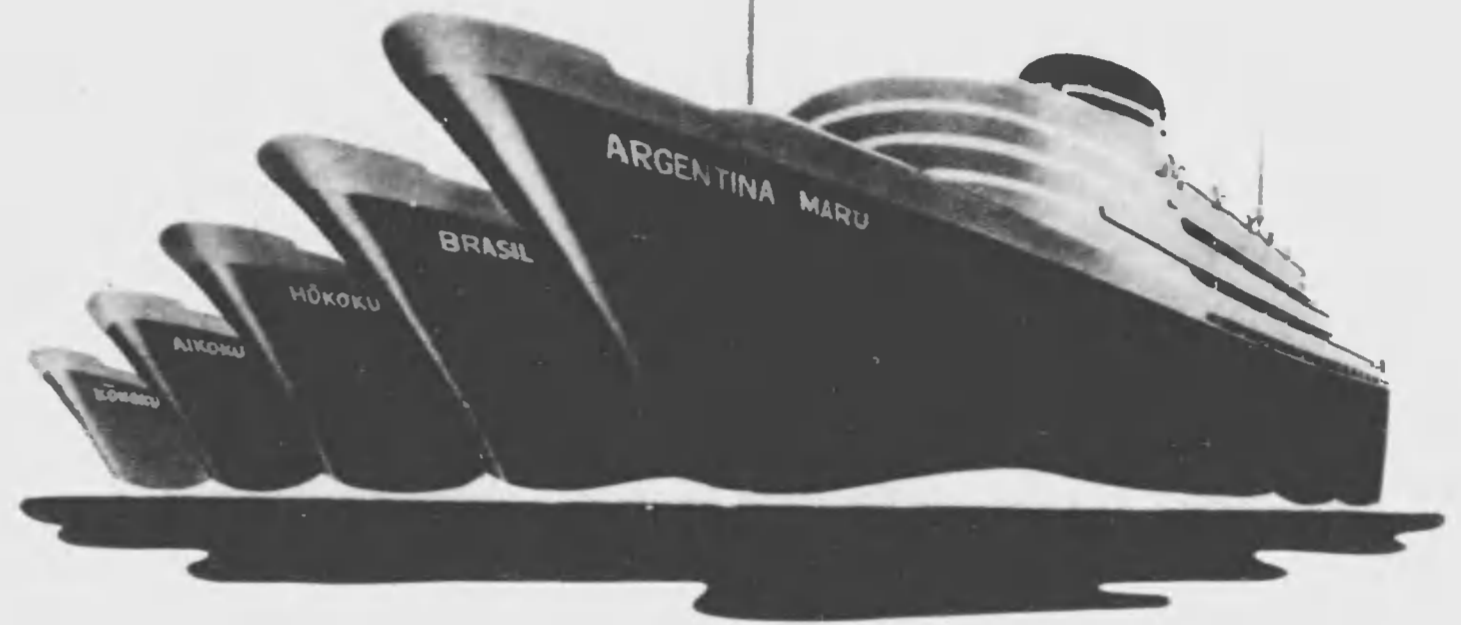


寫眞  
週報

編輯部報情閣内  
ンセ十・號一十百第・日十月四



# 七洋に雄飛する



紀元二千六百年記念

聖地巡拜は船で

大和 檀原 神宮  
九州 宮崎 神宮  
" 霧島 神宮  
" 佐神 神宮  
讚岐 金刀比羅 神宮  
伊豫 大山祇神 社

沖繩視察團員募集中

第廿二回 五月七日

第廿三回 五月十九日

神戶出帆

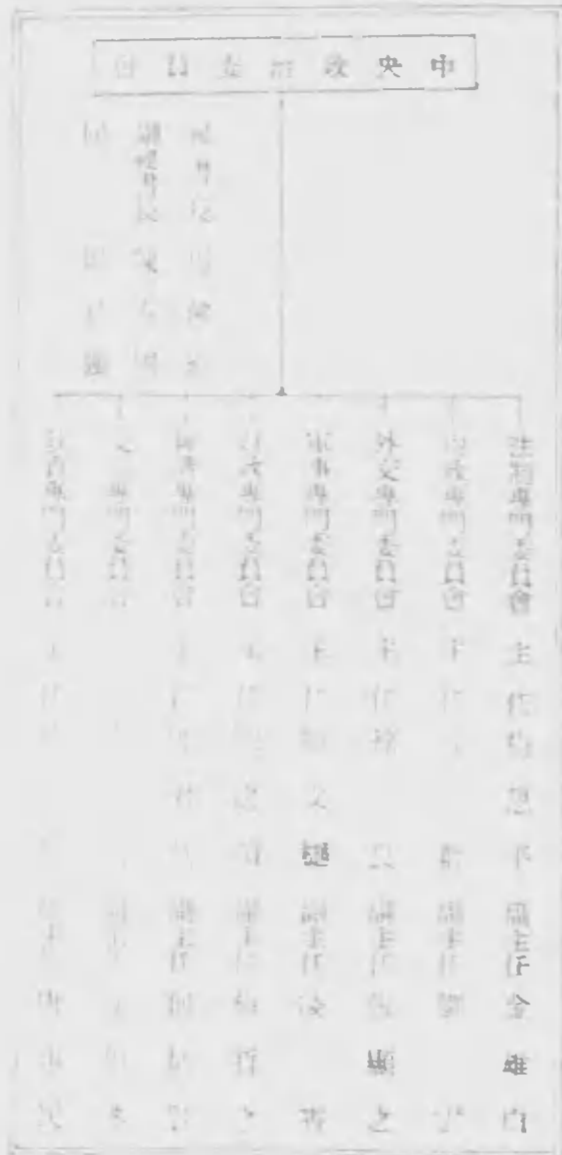
所要日数 八日

費用 一等 一二〇円  
二等 一〇〇円

—(呈進書内案)—

## 大阪商船

### 會



### 監察院

### 軍事委員會

### 軍事參議院

### 軍事訓練部

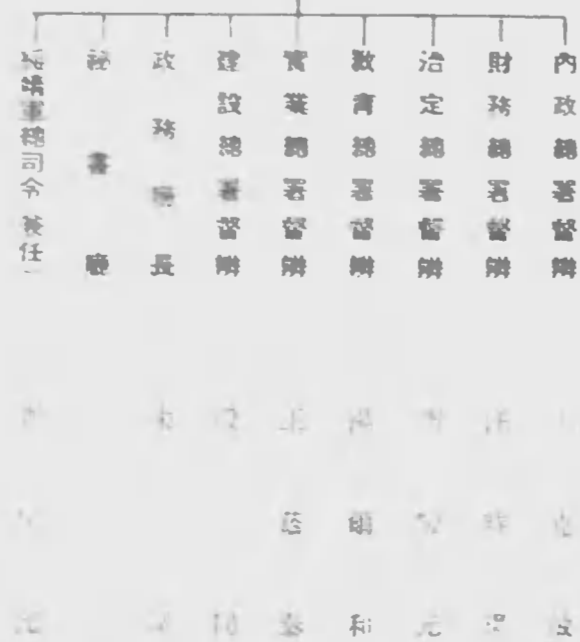
### 政治訓練部

開封靖主任

武漢靖主任

華北統靖軍總司令

### 華北政務委員會



## 新東亞建設日誌

昭和十二年

本誌は東亞の建設の進歩を記録し、その発展を促進することを目的とする。本誌の発行は、東亞の建設の進歩を記録し、その発展を促進することを目的とする。本誌の発行は、東亞の建設の進歩を記録し、その発展を促進することを目的とする。



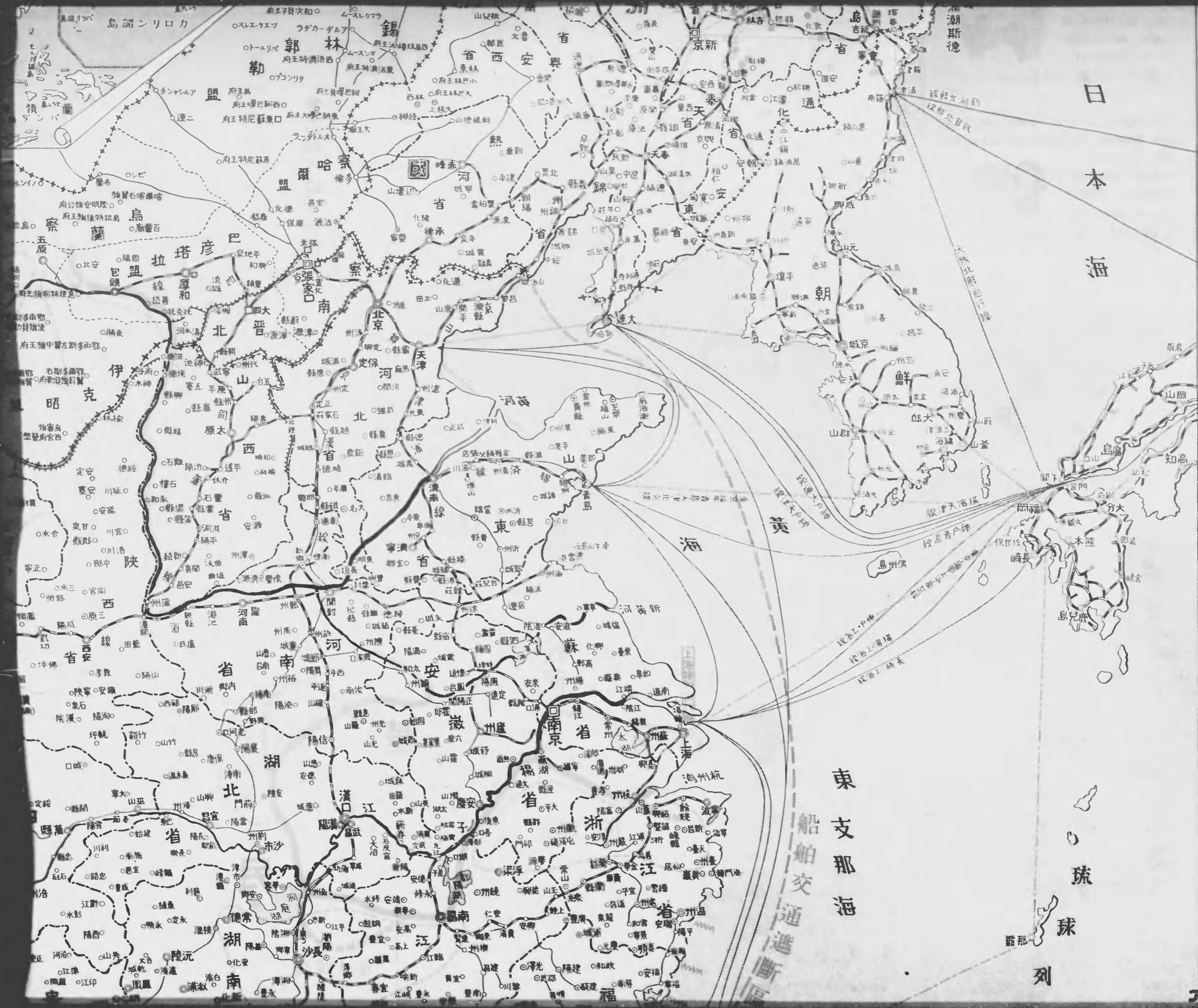
# 週報附錄 新支那現勢圖



東亞要圖  
在外邦人分布狀況

# 新支那現勢圖 內閣情報部





日本海

海

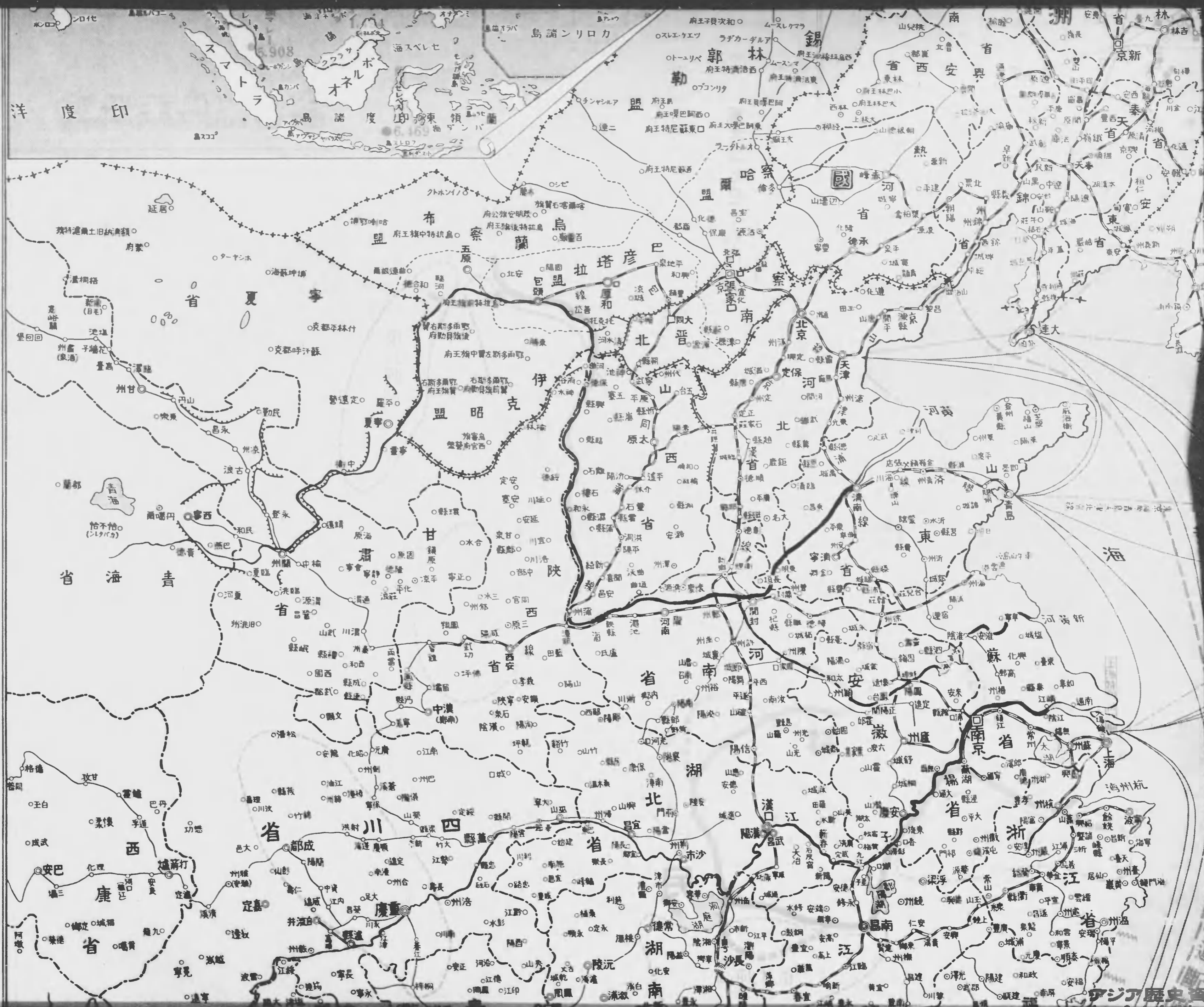
黃

東支那海

船舶交通遮斷區

琉球

列



印度洋



東支那海

琉球列島  
太平洋

船舶交通遮斷區域

例		凡	
滿洲開拓民入植地	□□	日本航空	——
集開開拓民	□	封鎖海	——
自由開拓民	□	同出擊地	——
青年義勇隊訓練所	□	皇軍占據區域	——
鐵道自警村	□	政府行政區域	——
		蒙古聯合自治	——
		華北政務委員	——
		華北政務委員	——
		省境	——
		國境	——

50 0 100 200 300 400 500 軒

行發刷印局刷印閣內

可認物便郵種三第日一月十年一十和昭  
行發刷印日十月四年五十和昭 (錄附號二十八百第報週)



刊B2 格規定國

(ズ禁ヲ製複斷無)

行發刷印局刷印閣內

可認物便郵  
行發刷



# 那支新中央政府一覽

中央政府委員會主席 汪精衛

一、當然委員(五院々長及華北政務委員會委員長)  
 汪精衛 陳公博 梁鴻志 王揖唐 唐紹儀 王克敏 張嘉璈 朱啟鈐 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞

一、列席委員(五院副院長、發言權有之)  
 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞

一、指定委員  
 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞

一、延聘委員(各省各派代表及各地)  
 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞 顧維鈞

## 中央政治委員會 國民政府



國民政府主席代理

一、善隣友好的行政の獨立秩序建設  
 二、友邦各國の調整し以て  
 三、友邦各國とて平和建設  
 四、和平建國を夫々これ



國民政府主席代理



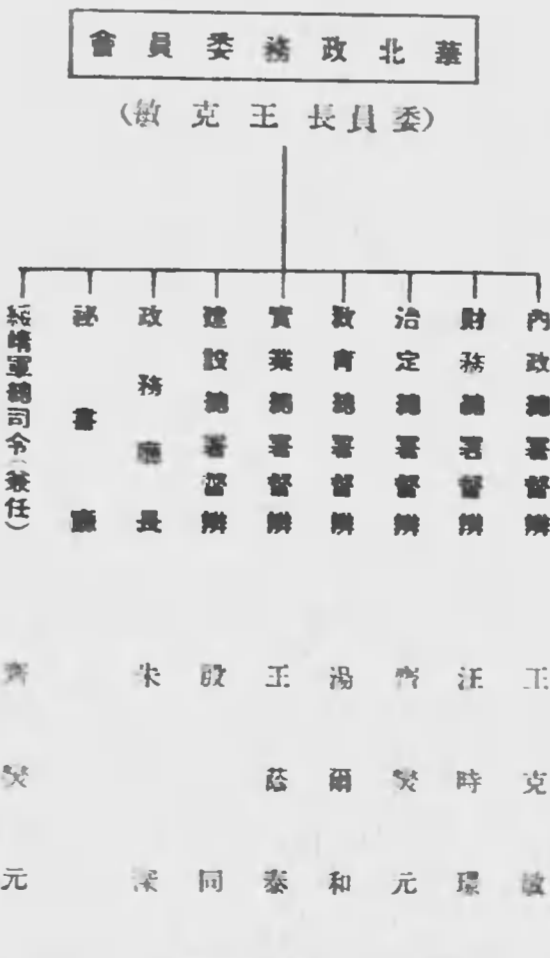
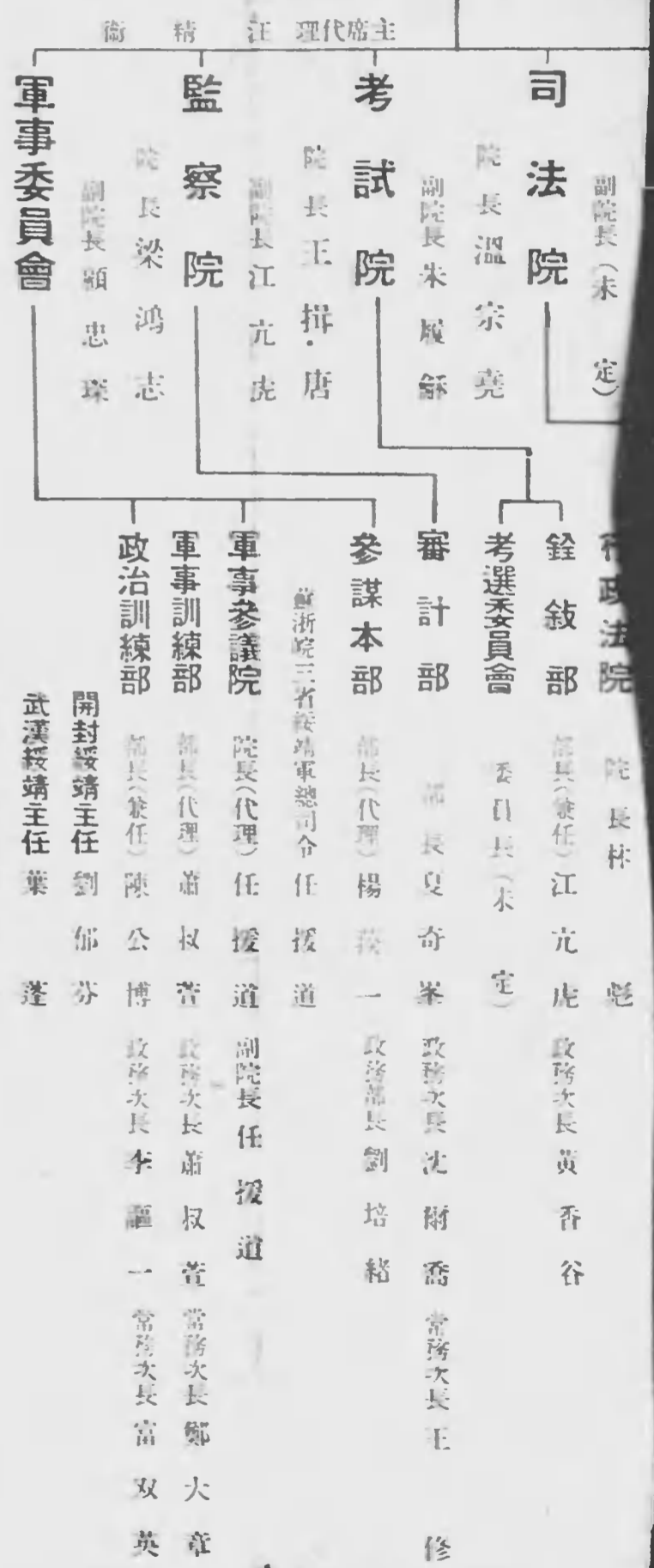
行政院副院長 外交部長

北伐當時は總司令部軍政部長院秘書長にたつた。第二期院委員、第五期中央監察委員、秘書長、中央執行委員會常務委員、僑務委員會委員長として活躍した。汪氏は汪兆銘兄弟に當る部長兼任。

法制專門委員會 主任梅思平 副主任金維白  
 內政專門委員會 主任陳群 副主任劉雲  
 外交專門委員會 主任徐良 副主任張顯之

中央政治委員會

國民政府



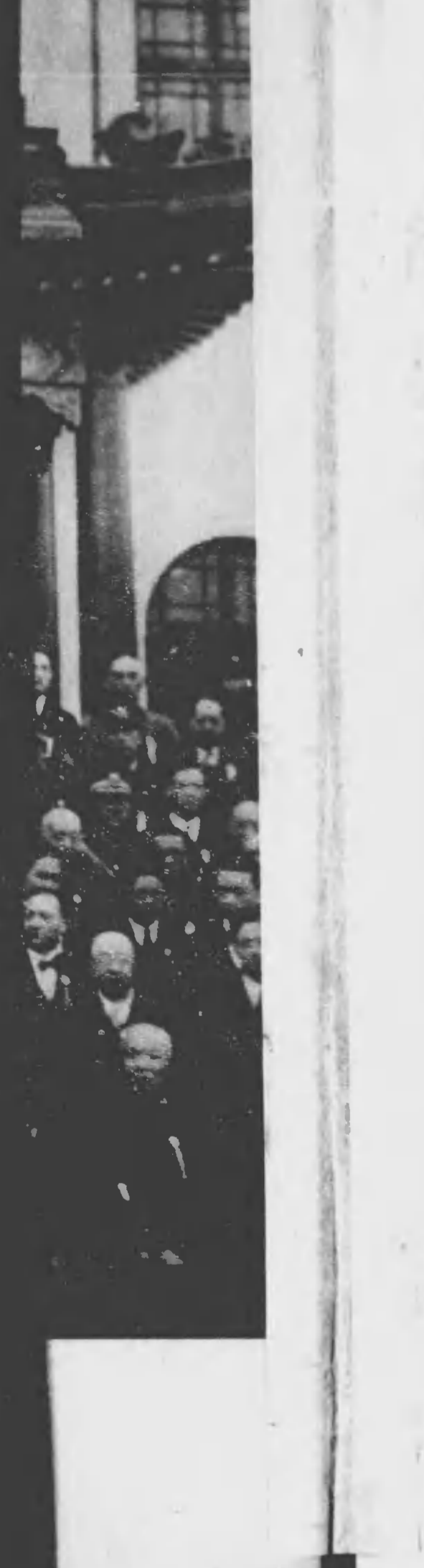
新東亞建設日誌

Chronicle of East Asian Construction (1923-1925), detailing political events, government changes, and military movements in China.

Political Committee Chairman's Report (政治委員會主席の報告), providing an overview of the committee's activities and goals.



Various reports and news items, including 'Judicial Department' (司法部) and 'Political Committee' (政治委員會) news.



Additional text and information at the bottom left of the page.

# 國民政府十大政綱

昭和十五年三月三十日發表

- 一、善隣友好の方針に基き和平外交を以て中國の主權、行政の獨立完全を求めて以て東亞永遠の平和及び新秩序建設の責任を分擔す
- 二、友邦各國の正當なる權益を尊重し並びにその關係を調整し以て支那を増進す
- 三、友邦各國と連結共に國際共產主義の陰謀及び其他總て平和擾亂の活動を防遏す
- 四、和平建國を擁護する軍隊及び各地遊撃隊に對しては夫々これを收容安定せしめ且つ國防軍を建設し軍

- 五、各級民意機關を設立し各界の人材を網羅して全國の公意を集中せしめ以て民主政治を助成する
- 六、國民大會を招集し憲法を定め憲政を實施す
- 七、友邦各國の資本及び技術的合作を以て戦後經濟の回復と産業の發展を圖る
- 八、對外貿易を振興し國際收支の均衡を計り並びに中央銀行を再建し幣制を統一せしめ以て社會金融の基礎を確立す
- 九、税制を整理し人民の負擔を軽減し農村を復興し難民を救済して各其の生業に安んぜしむ
- 十、反共和平建國を以て教育の方針となし且つ科學教育の向上を圖り浮華妄動の學風を一掃す

## 新支那要人の經歷

國民政府主席代理 **汪精衛**



廣東省番禺縣に生れ、本年五十八歳、我が法政大學の出身、留學中既に孫文の門に入り歸國後、新支那

建設の途に際して一九一一年時の清朝攝政王載瀅を暗殺せんとして或らず、捕はれ死刑の宣告を受けたが、爾來王にその奇手を惜れ死一等を減じられ、第一革命後釋放された。再度の流徙後、廣東政府に在つて孫文を輔佐し、胡漢民と共に國民黨の二大黨魁となる。孫文死後蔡元培の獨裁力増大と共に變遷を放逐運動を起して成らず、その後孫の遺囑を奉れ、初の行政院長に任じ所謂汪精衛合作政府を組織した。然るに滿洲事變當時學界に對する意見の相違より辭職し、一九三三年再び行政院長となり羅文幹辭職後外交部長を兼ね、一九三五年國民黨委員中中央政治委員會副主席に任ぜられた。事變勃發當初國民黨副總裁、國民參政會議議長、中央政治會議主席の重要職にあつて、常に不擴大方針の急先鋒となり、南京陥落するや、強行に和議を主張したが、遂に共產黨等の抗戰派の入れる所とならなかつた。昭和十三年十二月十八日、從來の和平主張を實行すべく、重慶を脱出、河内に至り歴史的和平建議を發し、周佛海、梅思平等と共に和平工作に乗り出す。翌年五月上海に移り同志を集め、日本側中央部と意見のため、渡日、國慶の途次王克敏、張鴻志等と共に新中央政府樹立に關し懇談した。同年八月上海に國民黨全國大會を開儀、純正國民黨を組織し、益々新中央政府成立に關する工作を進めて今日に至つた。新國民政府にあつて、政府主席代理、行政院長、中央政治委員會主席の要職を占む。

行政院副院長 **褚民誼**



浙江省興縣に生れ五十七歳、日本大學及び佛蘭斯トラスブルト大學出身の醫師

元、李石曾等と聯合して北伐軍の司令官部軍務部長として従軍一九三二年行政院秘書長に任じ、第二期以來第四期までの中央執行委員、第五期中央監察委員、國民政府の元老、中央黨部副委員長、中央執行委員會常務委員であつた。今回憲法籌備委員會委員長として活躍、中央政治會議秘書長であつた。汪氏とは兄弟に當る。今回行政院副院長、外交部長兼任。

立法院長 **陳公博**



廣東省出身、本年五十一歳、陳炯明氏と同族初期の

考試院長 **王揖唐**



安徽省合肥縣人、六十四歳、わが陸軍士官學校に學び法政大學の出身、一九一七年新國會成立の際、家

議院議長を務め、安福派の巨頭として名がある。一時安徽省長を務めた事がある。また北京に國民大學、中華大學を創設した人。許政博から建議書を發せられてから政界を離れてゐたが、貴族政府に返り咲き、臨時政府では議政委員會常務委員、内政部長兼新民會副會長、考試院長を兼ねた。四十歳、この間の領袖。歐戰、康澤と結んで許政博軍事委員會第三總の特務三人男と稱はれたが、驟然汪派に轉向後は特務工作に積極の活躍を續けてゐる。中央黨部社會部長兼中央特工總部主任であつた。還都籌備委員會交通股主任として活躍した。

社會部長 **丁默邨**



江西省の人、五十八歳、第一革命後中國社會黨を組織し、反黨世凱運動に活躍したが成功せず、英國に亡命、歸國後一九二四年再び中國社會黨を組織した。上海南方大學の創設者で學者。

考試院副院長 **江亢虎**



福建省閩侯縣の生れ、本年五十一歳、わが明治大學、東洋大學に學び歸國後廣東政府に入り白崇禧麾下

内政部長 **陳群**



の逸材として北伐に従軍上海軍法部長となつた。國民政府成立後は黨執行委員會上海辦事處主任、第廿六軍政治部主任を歴任後、一九三三年重慶の下に内政次長に就任したが、同年末國府に轉らず辭任、爾來上海に歸郷士を

開業した。支那事變に當つては早くから上海の治安維持に努め新政府の成るや國民黨員の身を以て参加し、内政部長として活躍、今回の還都籌備委員會副委員長。

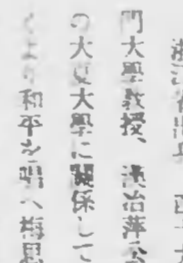
財政部長 **周佛海**



湖南省の出身で四十四歳の働き盛り、七高を経て大經濟學部在學中中國共産黨に入黨したが間もなく離

向、廣東大學教授、中央軍官學校政治訓練處主任、江蘇省政府委員兼教育廳長を歴任、一九三五年第五期中央執行委員

鐵道部長 **傅式說**



浙江省出身、四十九歳、東京帝國大學工學部出の工學士で廈門大學教授、漢冶萍公司技師等を勤めてゐたが、後上海の大夏大學に關係してゐた。また中華學藝社を主宰し早くより和平を唱へ梅思平等と共に和平運動の結實に大きな役割を演じた人である。

交通部長 **諸青來**



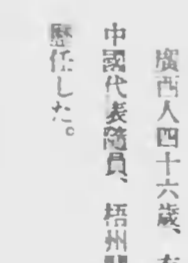
五十九歳、上海銀行週報編輯者として知られ有数の經濟學者である。上海大夏大學、持志大學、光華大學

宣傳部長 **林柏生**



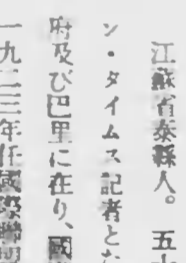
廣東人、四十歳、廣東のミッションスクール嶺南大學に學び、モスクワ中山大學卒業、早くから新聞界に活躍、南中華日報編輯長時代から反蔣派陣を張り一昨年香港南華日報を舞臺に重慶攻撃の鋭筆痛烈を極め重慶側テロに襲撃され重傷を負つた事がある。中央黨部宣傳部長代理、中央執行委員會常務委員であつた。今回の新政府のスポークスマンとして活躍してゐる。

振務委員長 **岑德廣**



廣西人、四十六歳、有名な岑春煊の子、ワシントン會議中國代表團員、梧州監獄管兼外交部特派廣西交涉員等を歴任した。

監察院審計部長 **夏奇峯**



江蘇省泰縣人、五十二歳、一九一九年上海イースタン・タイムズ記者となり次いで同社特派員として渡歐、府及び巴里に在り、國際聯盟支那代表部宣傳部員を兼ね、一九三三年任國聯總調查部員、一九二八年歸國上海に在つて政治方面に活動した。

軍事參議院長代理 **任援道**



江蘇省宜興縣出身、五十三歳、保定軍官學校卒業後第十五混成旅長、平漢路警備司令を歴任、一九三五年冀

察政務外交委員となる。維新政府經濟部長として活躍、陸軍中將、今回は還都籌備委員會經營股主任となり、新政府の軍事參議院長代理、蘇浙皖三省綏靖軍總司令等軍

政治委員会主席の要職を占む

行政院副院長 褚民誼



浙江吳興縣に生れ五十七歳、日本大慶及び佛蘭ステラニブル大学出身の醫學博士、オランダ留學中、北伐當時は總司令部秘書長として従軍一九三一年行政院秘書長に立つた。第二期以來四期まで中央執行候補委員、第五期中央監察委員、國民黨の元老で、中央黨部副委員長、中央執行委員會常務委員、今同委員兼監察委員委員長として活躍、中央政治會議秘書長、つた。汪氏と汪精衛に對する、今同行政院副院長、外交部長兼任。

立法院長 陳公博  
廣東省出身で當年五十一歳、田漢氏と同様初期の共黨員に身を投じて國民革命を志し、ついで革命的情熱の人、コムビヤ大黨を指導する下に入り北伐軍總司令部政治訓練主任、第一軍中央執行委員會委員を兼任、中山變革事件以後汪氏と反對運動を続け、第二期中央執行委員會委員に擢げられ、同年末實業部長、次いで鐵道部長とにして来た。一九三二年北伐軍總司令部第四期中央執行委員會委員に擢げられ、同年末實業部長、次いで鐵道部長となつた。汪派陣營では汪氏以外前大帥の關係を持つた改進黨の人、汪精衛と相前後して、汪と共に和平運動に邁進した。



廣東省出身で當年五十一歳、田漢氏と同様初期の共黨員に身を投じて國民革命を志し、ついで革命的情熱の人、コムビヤ大黨を指導する下に入り北伐軍總司令部政治訓練主任、第一軍中央執行委員會委員を兼任、中山變革事件以後汪氏と反對運動を続け、第二期中央執行委員會委員に擢げられ、同年末實業部長、次いで鐵道部長となつた。汪派陣營では汪氏以外前大帥の關係を持つた改進黨の人、汪精衛と相前後して、汪と共に和平運動に邁進した。

司法院長 溫宗堯  
廣東省山陰縣の人、本年五十五歳、香港皇仁學院卒業後支那留學、英國留學生として来た。一九三二年歸國後唐紹儀の下に政界に入り、支那支那通商交渉の印度に派遣され、歸國後財政部長として任ぜられた。民國革命後は革命黨に加わり、廣東省政府外交委員長、廣東省政府秘書長を兼任、一九三二年上海南北和平會議に、南方總代表として出席した。新政府司法院長として、重きをなした。



廣東省山陰縣の人、本年五十五歳、香港皇仁學院卒業後支那留學、英國留學生として来た。一九三二年歸國後唐紹儀の下に政界に入り、支那支那通商交渉の印度に派遣され、歸國後財政部長として任ぜられた。民國革命後は革命黨に加わり、廣東省政府外交委員長、廣東省政府秘書長を兼任、一九三二年上海南北和平會議に、南方總代表として出席した。新政府司法院長として、重きをなした。

司法部副院長 朱履巽  
浙江省嘉興縣人、本年五十七歳、英國留學、北京政府司法部參事を兼ね、ついで司法部副院長として任ぜられた。一九三二年國民政府司法部副局長に任ぜられた。又立法委員を兼ね、一九三二年政變によつて解任した。司法行政の權威。

監察院院長 梁鴻志  
山東省長樂縣人、本年五十九歳、前清の京師大學堂卒業後段祺瑞の幕下に在り、北京政府法制局參事等を兼任、一九三二年安福系議員の一人として逮捕令を發せられたこととなつた。一九三二年政變後となるや、執政院秘書長に任ぜられた。其の後、天津に遷徙、事變後新支那府に在り、新政府の最高顧問として、行政院長の要職に在り、中支復讐に大なる功績を挙げ、ついで中華人民政府の最高顧問として、重きをなした。



山東省長樂縣人、本年五十九歳、前清の京師大學堂卒業後段祺瑞の幕下に在り、北京政府法制局參事等を兼任、一九三二年安福系議員の一人として逮捕令を發せられたこととなつた。一九三二年政變後となるや、執政院秘書長に任ぜられた。其の後、天津に遷徙、事變後新支那府に在り、新政府の最高顧問として、行政院長の要職に在り、中支復讐に大なる功績を挙げ、ついで中華人民政府の最高顧問として、重きをなした。

監察院副院長 顧忠琛  
最近まで國民政府文官廳、日本へは内閣官房といつた所の參事を勤めていた人。

内政部長 陳炳



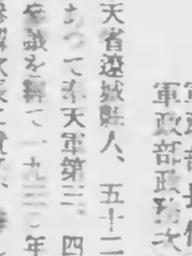
福建省閩侯縣の生れ、本年五十一歳、わか明治大學、東洋大學に學び、歸國後廣東政府に入り、内務廳長の下に在り、一九三三年黃郛の下に内政次長に就任した。同年末政府に陳炳才辭任、陳炳才上海に歸還するに際して、支那事變に當つては早くから上海の治安維持に努め、新政府成立を予國民黨員の身を以て参加し、内政部長として活躍、今同の選考委員兼副委員長。

財政部長 周佛海  
湖南省の出身で四十四歳の學び、七高を経て、大經濟學部在學中、中國共産黨に入黨し、ついで、向、廣東大學教授、中央軍官學校政治訓練主任、江蘇省政府委員兼教育廳長を兼任、一九三五年第五期中央執行委員、中央黨部民衆訓練部長と、陳炳才の信任厚く、アレン・トラストの一人、事變當時は國民黨宣傳部長の要職に在り、事變の翌年三月頃、汪精衛を擁護して、梅思平等と和平運動を唱へ、五月五日上海に到着して、新國民黨工代、對日和平折衝等に活躍して、汪派の總參謀長格。



湖南省の出身で四十四歳の學び、七高を経て、大經濟學部在學中、中國共産黨に入黨し、ついで、向、廣東大學教授、中央軍官學校政治訓練主任、江蘇省政府委員兼教育廳長を兼任、一九三五年第五期中央執行委員、中央黨部民衆訓練部長と、陳炳才の信任厚く、アレン・トラストの一人、事變當時は國民黨宣傳部長の要職に在り、事變の翌年三月頃、汪精衛を擁護して、梅思平等と和平運動を唱へ、五月五日上海に到着して、新國民黨工代、對日和平折衝等に活躍して、汪派の總參謀長格。

軍政部長代理 鮑文樾  
奉天省遼寧縣人、五十二歳、北京師範大學、元張學良麾下に在り、奉天軍第三、四方面參謀長、東三省保安總司令部參謀長を兼ね、一九三二年、張學良、合作した後、一時參謀次長に就任、辭して國民政府軍事委員會分會委員となつた。その後、軍事委員會分會主任となつた人。

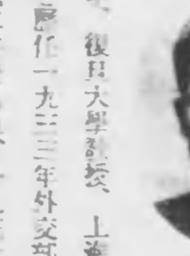


奉天省遼寧縣人、五十二歳、北京師範大學、元張學良麾下に在り、奉天軍第三、四方面參謀長、東三省保安總司令部參謀長を兼ね、一九三二年、張學良、合作した後、一時參謀次長に就任、辭して國民政府軍事委員會分會委員となつた。その後、軍事委員會分會主任となつた人。



江蘇省寶山縣出身、六十四歳、早大卒業、國立暨南大學校長、北平特別市政府社會局長、青島特別市政府教育局長等を兼任、在野の名流で文化界を代表する人。

司法行政部長 李聖五  
山東省泰安縣人、五十二歳、北京大學卒業、我が東大大學院、オックスフォード大學等で法學を修む。暨南大學、復旦大學教授、上海商務印書館編輯、行政院參事等を兼任、一九三三年外交部總務司長兼中央政治會議秘書長に任ぜられ、一九三六年外交部顧問となつた。前回は國民政府委員、著書國際公法論、其の他、中央執行委員會常務委員に在り。



山東省泰安縣人、五十二歳、北京大學卒業、我が東大大學院、オックスフォード大學等で法學を修む。暨南大學、復旦大學教授、上海商務印書館編輯、行政院參事等を兼任、一九三三年外交部總務司長兼中央政治會議秘書長に任ぜられ、一九三六年外交部顧問となつた。前回は國民政府委員、著書國際公法論、其の他、中央執行委員會常務委員に在り。



浙江省人、四十五歳、北京大學法學部出身、南京中央大學、中央政治訓練院教授を兼任、後、南京自治訓練院長として任ぜられた。和平運動開始後は上海、香港、重慶間を往復、ついで、同様の職務に當つた。大衆教育委員長、中央黨部組織部長、中央執行委員會常務委員に在り。

農林部長 趙斌松  
貴州省の、四十二歳、中國青年黨中央執行委員會委員、新中國日報總編輯、前財政部參事、川康行政區域政治委員を兼任、



貴州省の、四十二歳、中國青年黨中央執行委員會委員、新中國日報總編輯、前財政部參事、川康行政區域政治委員を兼任、

中國代表委員、梧州監獄監獄長、外交部特派廣西交涉員等を兼任した。

監察院審計部長 夏奇峯

江蘇省泰縣人、五十二歳、一九一九年上海イースタン・タイムズ記者となつた。次いで同社特派員として渡歐、府及び巴里に在り、國際聯盟支那代表部宣傳部長を兼ね、一九三三年任職、國際聯盟情報部長、一九二八年歸國上海に在りて政治方面に活動した。

軍事參議院長代理 任援道



江蘇省宜興縣出身、五十五歳、保定軍官學校卒業後、第十五混成旅旅長、平漢路警備司令を兼任、一九三五年冀察政務外交委員となる。維新政府綏靖部長として活躍、陸軍中將、今同は選考委員兼經營部主任となり、新政府の軍事參議院長代理、蘇浙皖三省綏靖軍總司令等軍事の要職に在り。

開封綏靖主任 劉郁芬



河北省清苑縣の出身で六十一歳、保定陸軍速成學校步兵科卒業後馮玉祥の麾下に入り國民革命軍第二集團軍第二軍長兼軍事委員會委員、第七方面軍總指揮、甘肅省政府委員主席等を兼任、新政府の下、開封綏靖主任。

武漢綏靖主任 葉選



湖北省黃陂縣の出身で保定軍官學校卒業の陸軍中將、本年四十七歳、一九三〇年以來武漢地方の治安維持に當り、事變前は武漢警備司令であつた。現在は汪氏を擁護し、中央軍官訓練團教育長の要職に在り、新政府軍部の中樞人物である。武漢綏靖主任。

華北綏靖軍總司令 齊燮元



河北省人、六十二歳、北京陸軍大學卒業後直隸派に屬し、一九二二年陸軍上將、察院院議長、閣員となり、第二次奉直戰の際、海を占領、ついで、張作霖に被る日本に亡命、直隸復讐に努め、失敗、天津に遷徙、後、察院院議長に任ぜられた。治安部長兼陸軍軍官學校校長、華北綏靖軍總司令、華北政務委員會常務委員兼綏靖總指揮の任に在り。

華北政務委員會委員長 王克敏  
浙江省杭州縣の出身で六十八歳、清末留日學生監督として東京後外交部に入り、ラッセル、歸國後中法實業銀行、中國銀行總裁を兼任、一九一六年張勳會内閣に財政部長として入閣、以後四期に在り、馮玉祥のクーデターに當り、在野に下つた。其の後、察院院議長に選ばれ、經濟委員會主席となつた。實際には就任せず、上海に遷徙中の所、事變後復讐地へ在り、和議、十二月北京に入閣、臨時政府の組織に當り、行政委員會委員長として北支政治の中樞となつた。本年更に、新民會長を兼任、新政府の下、華北政務委員長となり、依然北支の首班。



浙江省杭州縣の出身で六十八歳、清末留日學生監督として東京後外交部に入り、ラッセル、歸國後中法實業銀行、中國銀行總裁を兼任、一九一六年張勳會内閣に財政部長として入閣、以後四期に在り、馮玉祥のクーデターに當り、在野に下つた。其の後、察院院議長に選ばれ、經濟委員會主席となつた。實際には就任せず、上海に遷徙中の所、事變後復讐地へ在り、和議、十二月北京に入閣、臨時政府の組織に當り、行政委員會委員長として北支政治の中樞となつた。本年更に、新民會長を兼任、新政府の下、華北政務委員長となり、依然北支の首班。

（順序本同の點と、資料紙面その他の關係を全部を網羅してゐないことをお断りして置きます）



### 新國民政府 成立す

昭和十五年(民國二十九年)三月三十日、國民政府首席代理汪精衛氏は南京大禮堂において力強く南京遷都の宣言を行い、これに新支那中央政府は輝かしの誕生を見た。眞實は、三十日、晴れの遷都式典を終つて新政府五院十各部の各院長、部長他要人の記念撮影。

撮影 興業通信社

立  
中華民國臨時政府成立

三月十三日  
汪精衛氏南京遷都の宣言

三月十三日、汪精衛氏は南京大禮堂において、新支那中央政府の成立を宣言し、南京を臨時首都とする。この宣言は、日本の侵襲に對する不屈の精神を示し、国内外に大きな影響を及ぼした。

三月十四日、汪氏は南京に於て、新政府の組織を明らかにし、各部の長官を任命した。この日、南京は大規模な祝賀会が行われ、市民は興奮した様子で、新政府の成立を歓迎した。

三月十五日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の政策を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月十六日、汪氏は南京に於て、各部の長官と面談し、新政府の組織を固くした。彼は、各部の長官に、新政府の政策を説明し、彼らに、新政府の成立を歓迎し、新政府の政策を支持することを求めた。

三月十七日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月十八日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月十九日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十一日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十二日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十三日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十四日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十五日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十六日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十七日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十八日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月二十九日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。

三月三十日、汪氏は南京に於て、記者会見を行い、新政府の組織を説明した。彼は、新政府は、日本の侵襲に對して、断固たる態度を示し、和平を望むが、和平は、日本の侵襲が止むまで、あり得ないことを強調した。



左野イタリーのブリキツと總領事と市長と杯(漢口)



景氣のいよ慶祝花火も響く一劃の星空にきはよ(上海)

# 還都の日 歡喜の夜

撮影  
中文派 遠軍 報連部  
同慶 通信社



喜びにおよんで萬餘の民衆が集ふ還都慶祝民衆大會(南京)



下關に控治中の中國海軍軍艦落艇の放つ二十一發の禮砲(南京)

横須賀  
川立

# 人々の驚愕

# 議壇

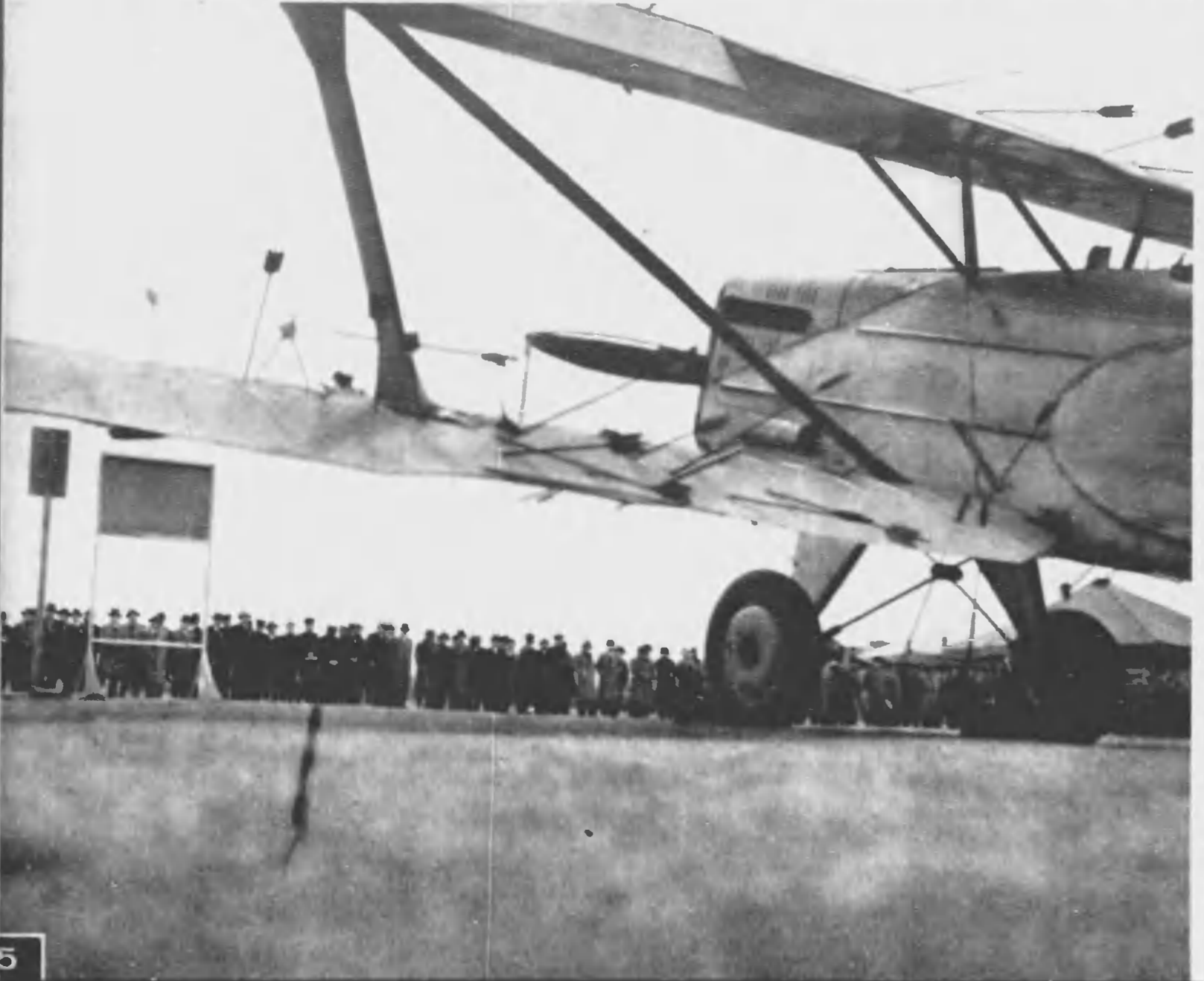


兵隊さんの介添で飛行機に身を囲め九費乗降隊員百五十名は混雑と機上の人となり堂々三十一機の大編隊で附近上空を一周し、空中勤務将兵の勇姿を披露した

陸軍航空隊の誇りとして天覧の光榮に浴した開山機を目のあたりに見た一行は強靭も生々しい血闘のあとを偲び心からの感謝を捧げた(下)

ノモンハン戦でわが陸軍に喰下つたソ聯機イ十六戦闘機を見學、將校の説明に一行はソ聯機の性能を其さに認識した

撮影 内閣情報部



航空技術廠の見學がすむと、航空隊の特納庫内に用意されたテーブルには兵食の御馳走が一行を待つてゐた。議會の軍需を降ろして久しぶりに春の大氣の中を歩き廻つた議員は暖やかな談笑と共に舌鼓を打つ



午後一時半、横須賀軍港から軍艦「摩耶」に同乗して黒潮の色濃い東京灣に突出せば忽ち潜水艦が襲撃、これを撃退したと思ふと敵機隊の攻撃機が現はれて猛烈な攻防演習が展開される

「すぞいですなあ」  
縦横無盡に駆けめぐる荒鷲の戦闘訓練に議員一同は天を仰いでたい感嘆するばかり

いよ、海軍機に同乗すると、志願者殺到し、やうやく抽籤で田子兼議院副議長以下四十名が乗りこむこととなる



# 先達の飛行機工作も お国のため

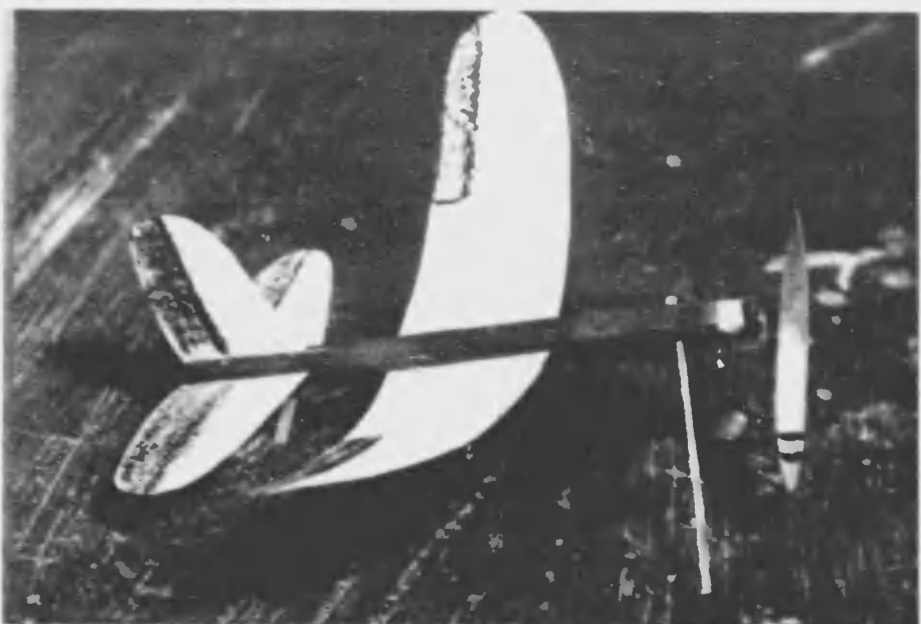
今日はかりは生徒になつた全通航空学校の手工の先生たちは、わが国航空文化の発展といふ大役を引受ける意気込みで講習会の場には、習智に懸命です。



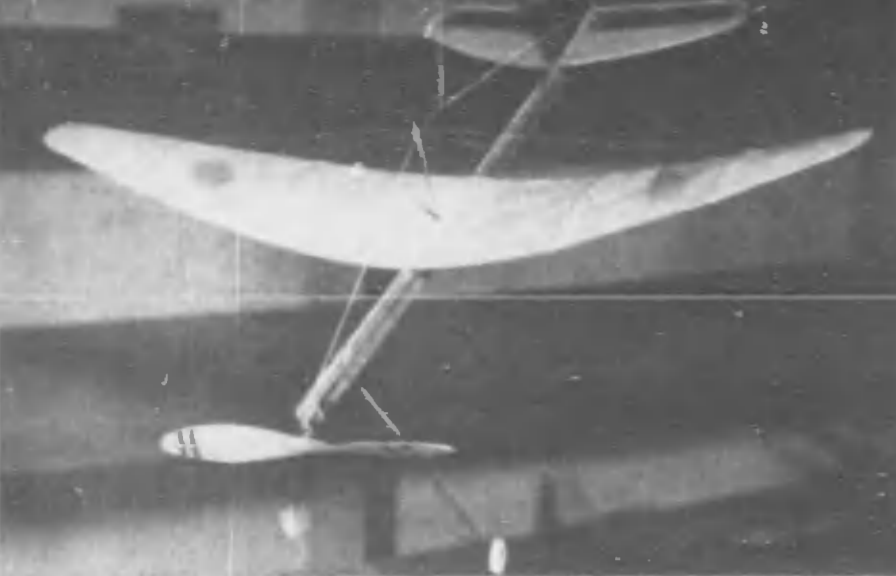
**一年生**  
ネンドヒカウキ  
(ヒダリ)トキビ  
ガラヒカウキ  
(ミダリ)ハイチ  
ネンセイガイ  
ジカンデウタル  
ノデス  
ザイリヨウハ  
ネンドトチウロ  
ウシノフツギライ  
チマイト ノリデ  
ス



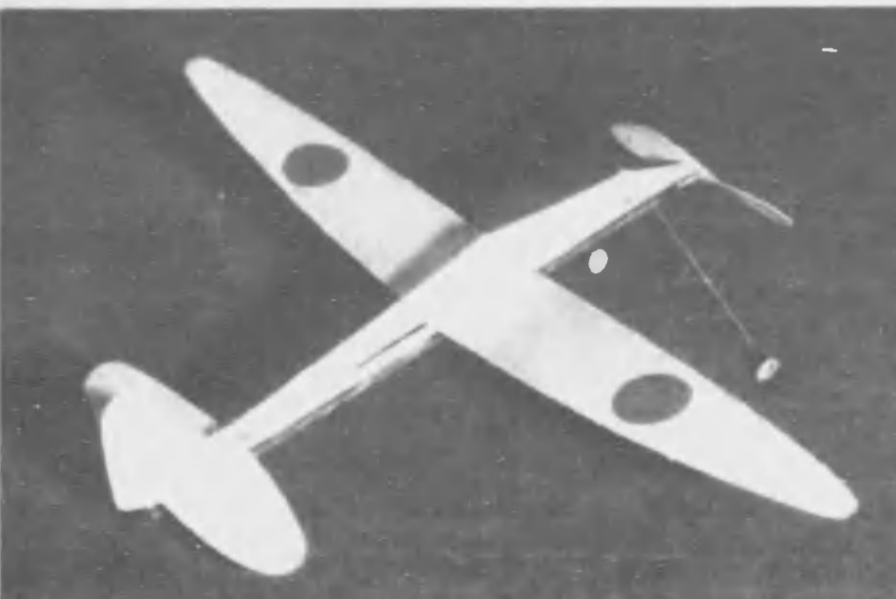
**二年生**  
中紙紙ひからき  
(右)ときびがら  
グライダー  
これは二ねんせい  
かつくもので、  
中紙紙ひからきは  
中紙紙の四つ切一  
枚とよるくき一本  
のりが材料です。  
頭部は流線型でそ  
のしんにはくきが  
さしこんでありま  
す。きびがらグラ  
イダーは一本のき  
びがらと中紙紙四  
つ切り一枚と皮紙  
一本(五人分)が材  
料です。



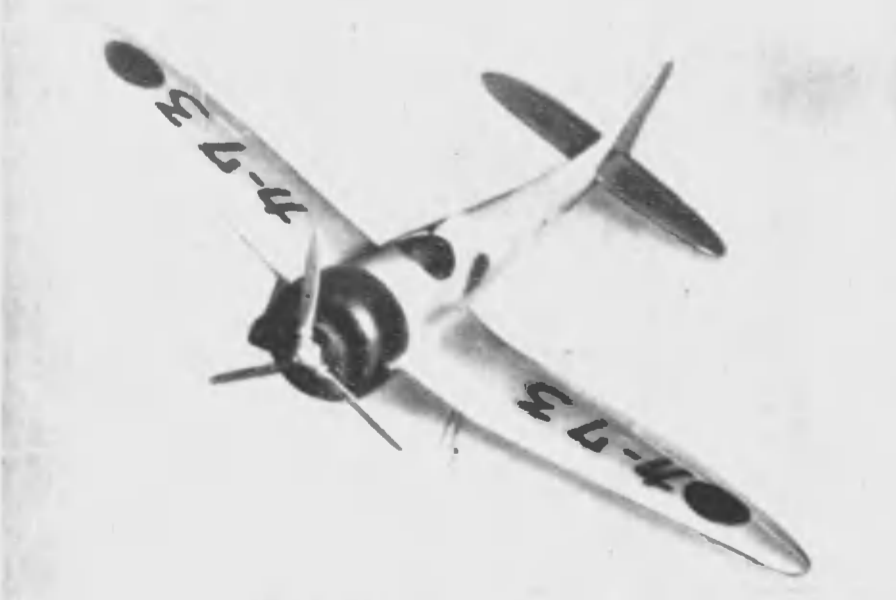
**三年生**  
きびがら飛行機  
この飛行機をつ  
くる材料はきびが  
ら一本と皮紙(五  
人一本)、L形  
の金具、プロペラ  
とプロペラシャ  
フト、ネゴム、  
硝子玉(ヘアリン  
グ)と中紙紙の四  
つ切り一枚です。  
そして三年生(三  
学期)が三時間  
つくり上げます。



**四年生**  
竹・木・紙・ゴ  
ム飛行機  
四年(二学期)生  
が作るこの飛行機  
の材料は竹皮七  
木、四角金具、  
硝子玉、硝子  
ム、車輪、鋼線  
(四十番)、鋼線  
松輪、鋼線、糸等  
です。製作時間は六  
時間ぐらいで、こ  
の程度の飛行機に  
なるとなかくよく  
飛びます。



**五年生**  
竹・木・紙・ゴ  
ム飛行機  
この飛行機は五  
年生(一学期)が大  
時間かけて作り  
上げるもので、  
が、こゝから上  
級学年に近づくと  
航空力学を多分に  
適用したもので  
す。材料は松輪一  
本、竹皮丸木、  
ネゴム、四角金具  
一個、硝子玉一個、  
プロペラ(四角品)  
(鋼線製)四十番、  
硝子玉、鋼線、車  
輪、鋼線等です。



**六年生**  
木製飛行機  
これは海軍九六  
式艦上戦闘機の模  
型で、製作時間は  
八時間で仕上げ  
るものです。材料は  
桂、成ひは粘り  
助材料など全部が  
手製品で、その他  
に塗装用塗料等が  
必要です。

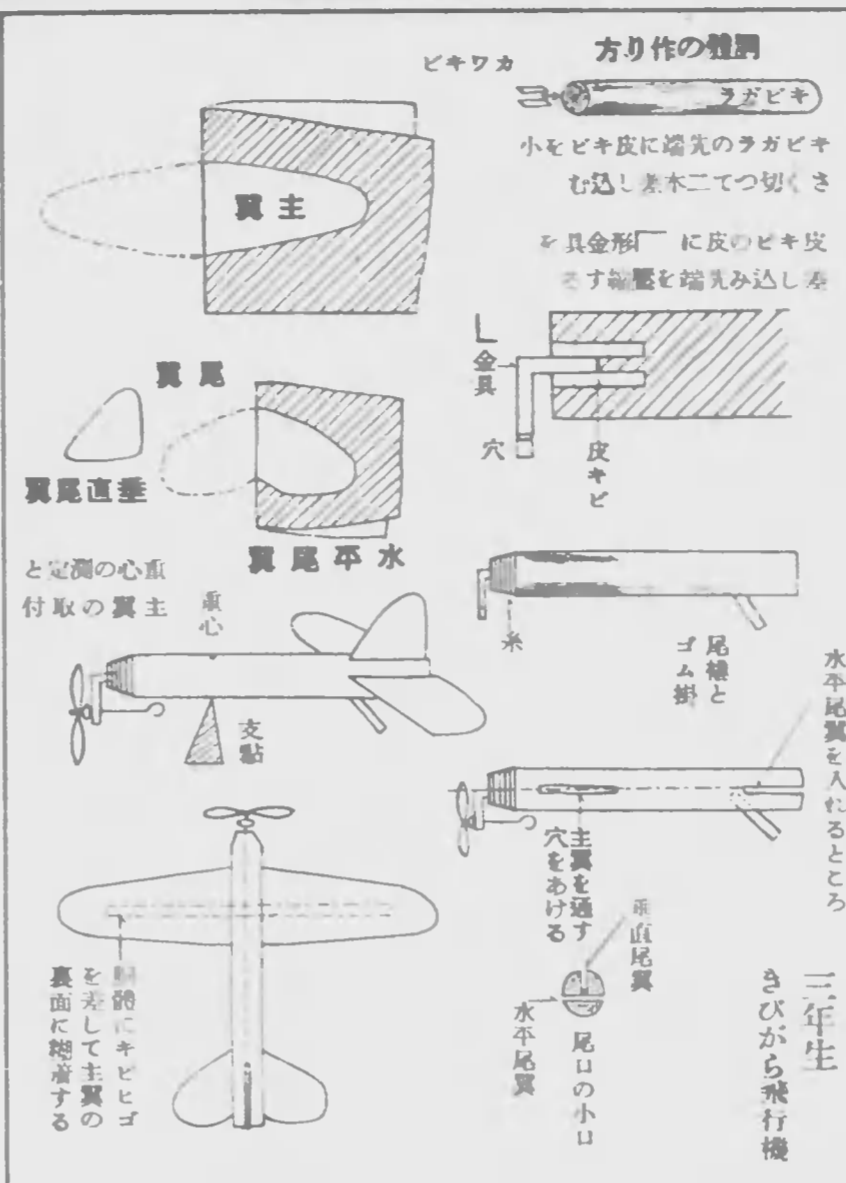
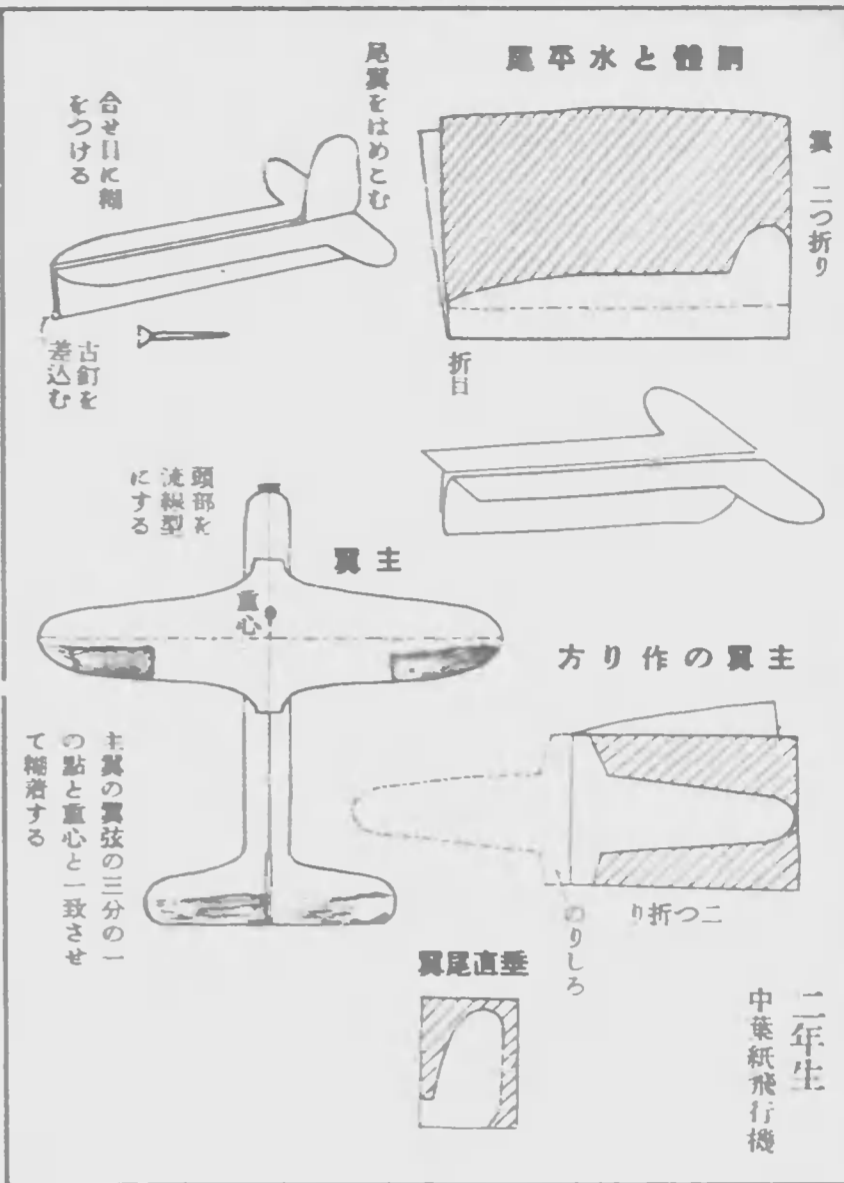
空の理論と模型飛行機の作り方や飛ばせ方を習った先生たちは各府縣に歸つて児童の手工指導に當るわけです。この手工教育を通じて飛行機の構造とか形とかについて正確な知識を得た子供達は、その飛ばせ方を工夫することによって飛行機についてのむづかしい理論を自然と覚えるやうになります。そして今まで航空について何の考へも持つてゐなかつたものが一通りの航空知識を得ることによって日本の航空文化はだん／＼と高められてゆきます。かうして模型飛行機教育の美點は航空日本の将来にいよ／＼貢献するばかりでなく、理科と手工の総合教育から發明の才を培養するといふ一石二鳥の教育方法であります。

まづ新学期から實施される一學年から六學年までの代表的な教案をお目にかけませう。

模型飛行機を作つたり、飛ばせたりすることに於て子供たちは航空といふことに大きい興味と憧れをもちますが、それには子供たちの先生に先づ航空知識を養つてもらひ、先生を通じて次の時代の小國民が空への認識を深めるやうにと、こんど文部省は小學校や中等學校の手工の時間に模型の飛行機やグライダーの作り方と飛ばせ方を教へることに決定し、新学期から實施することになりました。

そこで先づ全國の師範學校の先生たちを東京と廣島に集めて講習會を開きました。東京の方は三月二十五日から五日間、東京高等師範學校を会場に行はれ、講師は航研機でおなじみの木村秀政先生や「エツボン」の設計者本庄季郎先生、グライダーで著名な山崎好雄先生、模型飛行機製作で有名な北村小松先生などでした。この講習會で航





### 支那新政府の政綱と 新東亞建設の道標

三月三日、支那新政府の政綱が発表された。この政綱は、支那の歴史を振り返り、支那の前途を展望するものである。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。

#### 反共和平建國の大方針

支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。

#### 新政綱の内容

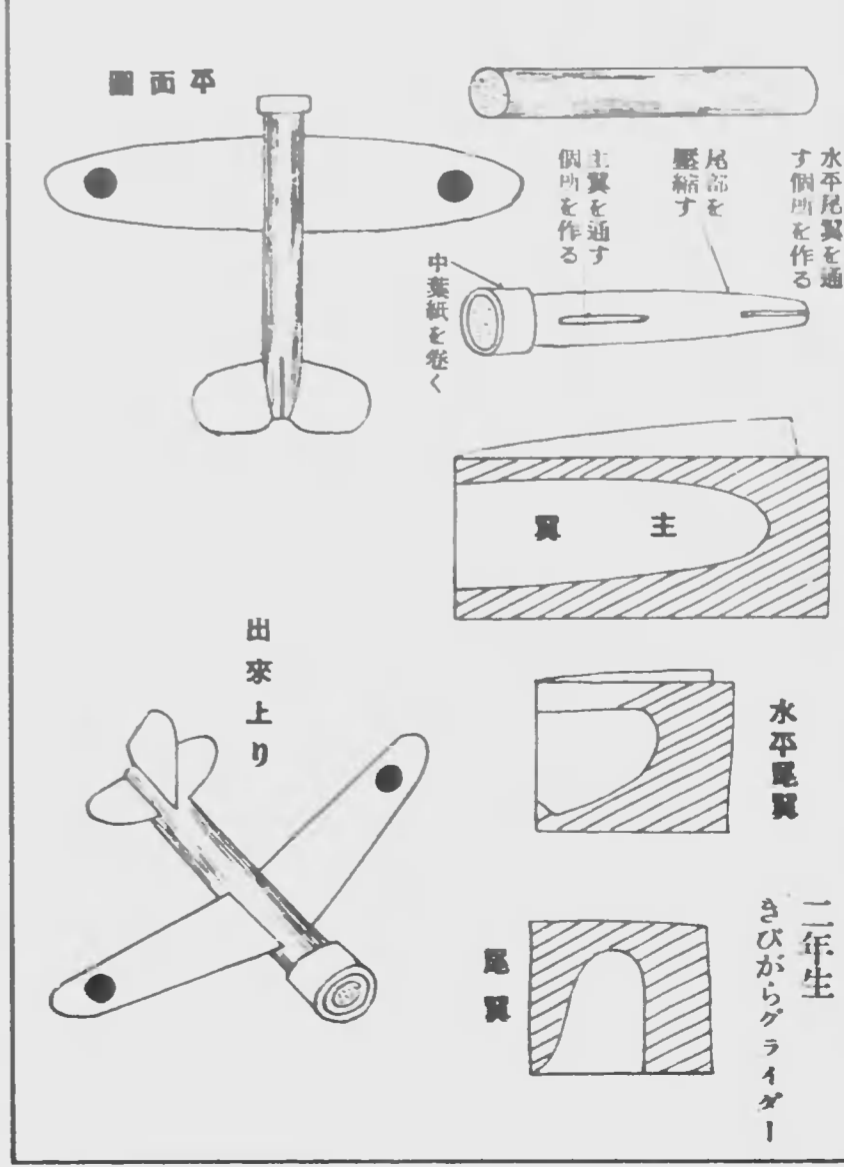
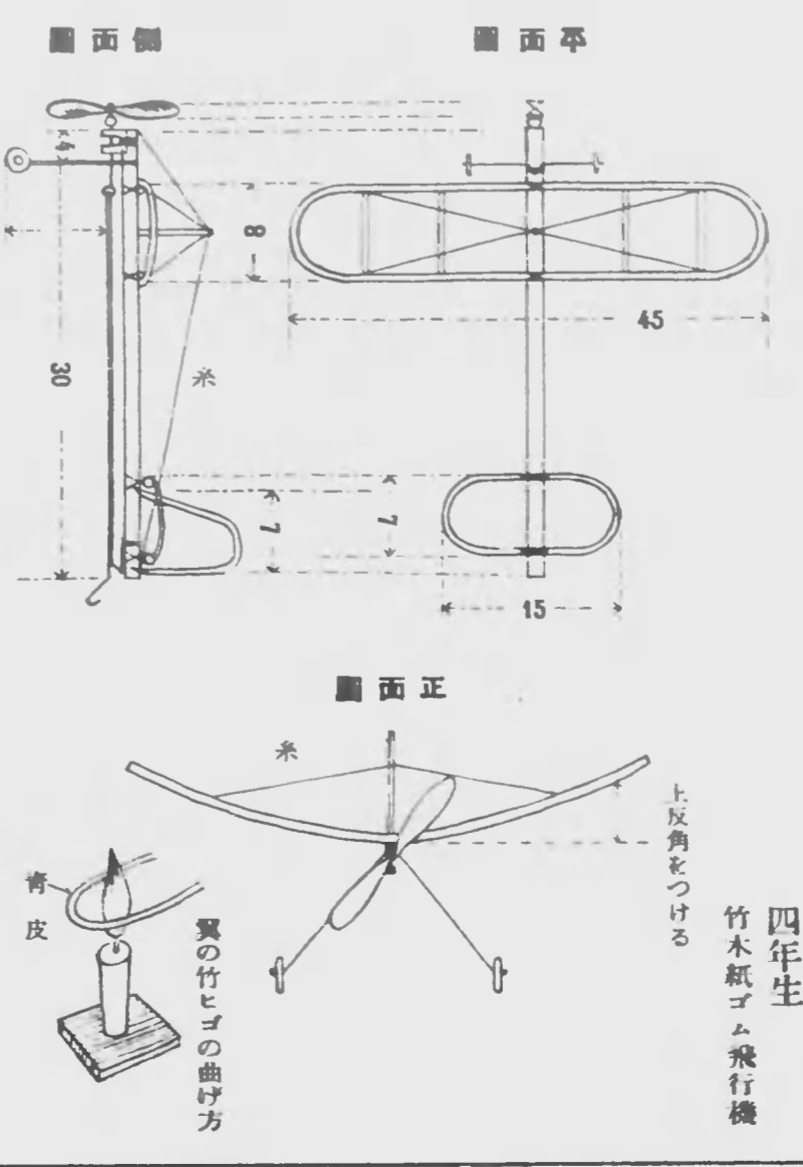
新政綱の内容は、反共和平建國の大方針を掲げ、支那の歴史を振り返り、支那の前途を展望するものである。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。

#### 軍事

軍事は、支那の歴史を振り返り、支那の前途を展望するものである。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。

#### 政治

政治は、支那の歴史を振り返り、支那の前途を展望するものである。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。



#### 新政府と對外關係

新政府と對外關係は、支那の歴史を振り返り、支那の前途を展望するものである。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。

#### 事變處理への新發足

事變處理への新發足は、支那の歴史を振り返り、支那の前途を展望するものである。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。支那の歴史は、常に外侮を受ける歴史であり、支那の前途は、常に外侮を受ける前途である。

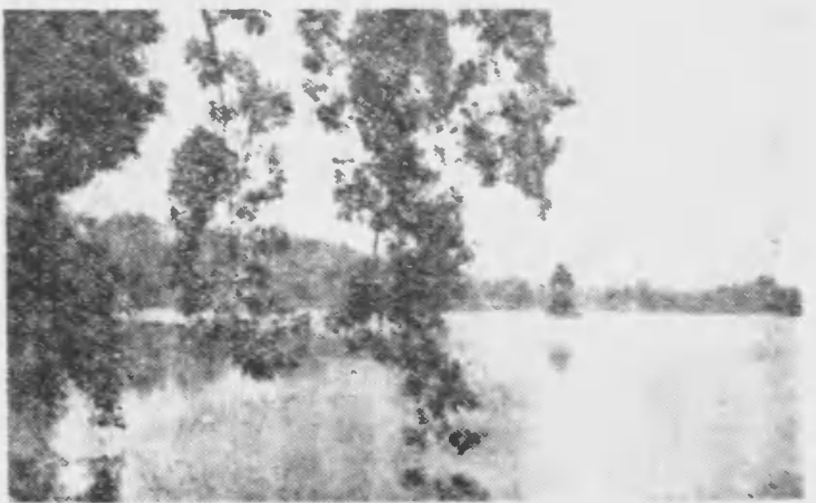
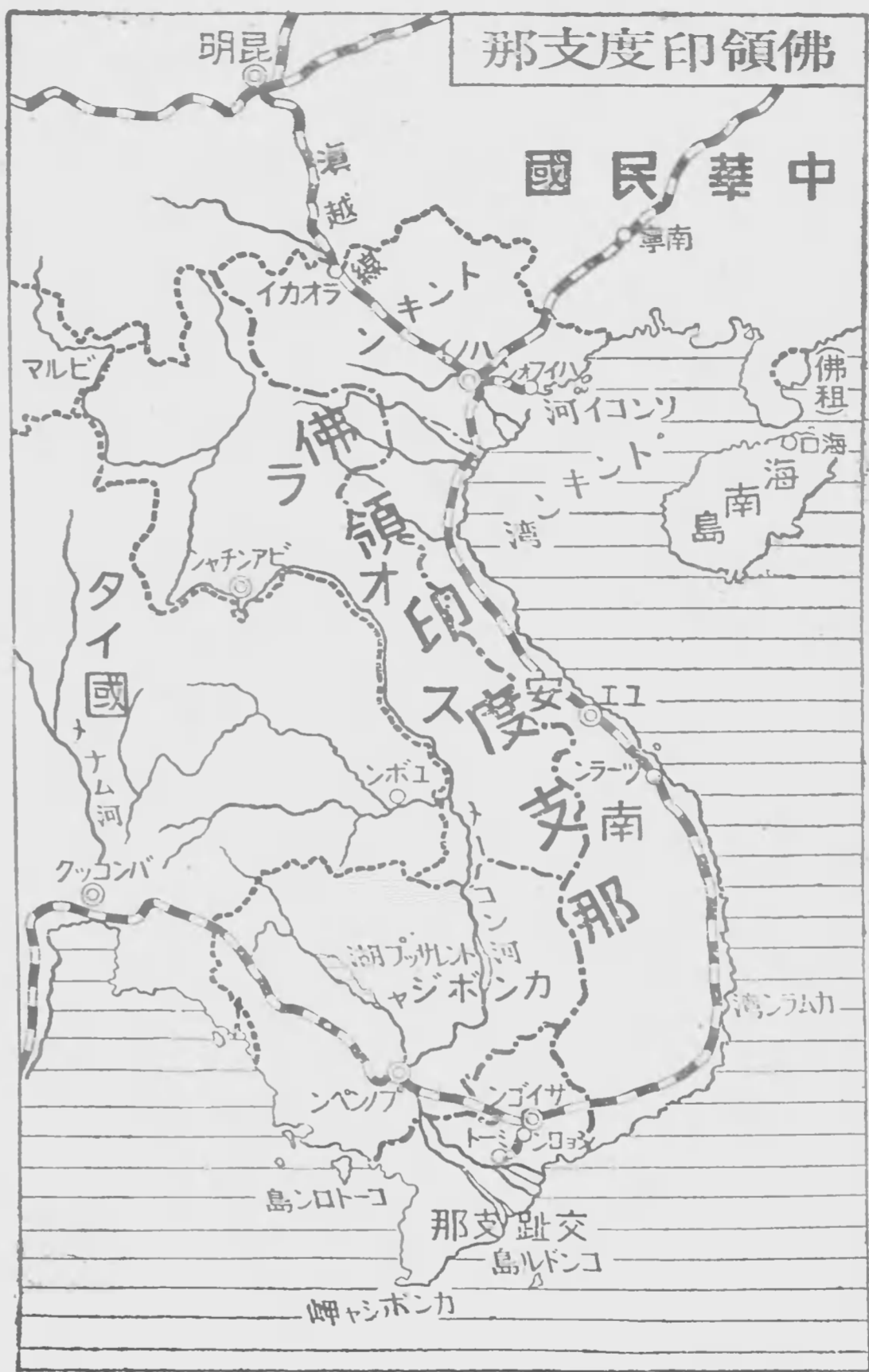
話題の國

佛領印度支那

前ハノイ總領事 宗村丑生

佛領印度支那は、フランスが領有する植民地の中で、最も重要なるものに、その天然資源の豊富なること、正に華洋に接するものがある。...

佛領印度支那の面積は七百五十万平方キロメートル、人口は二千二百萬人、日本の四分の一にすぎません。...



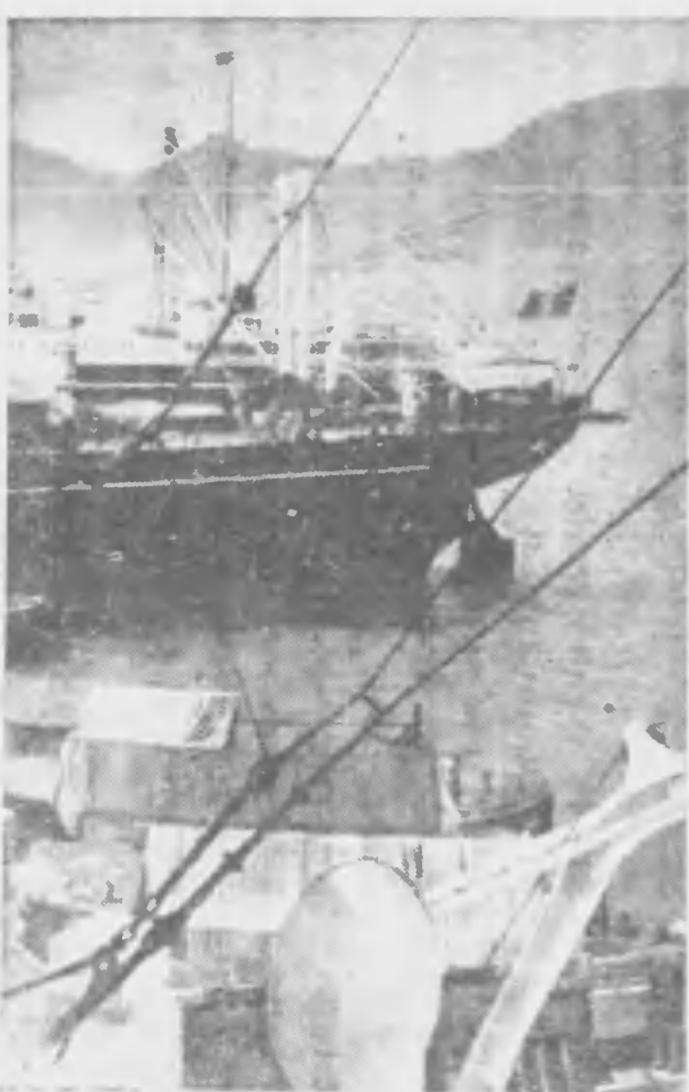
湖クワラチアのイノハ

萬平方キロメートル、人口は二千二百萬人、日本の四分の一にすぎません。...

フランス人は約三萬人あつて、その大半は軍人や、官吏、それ以外に銀行家、工業、運輸、農業者、技師などが従つて居る。...



街市のイノハ



海船のイノハ

見るとついても、日佛國交の改善は極く重要なものと思はれます。...

佛領印度支那の交通の發達は、日本に對して重要な意味を有する。...

産業戦線にいざを

秋田縣南秋田郡大森町内の子作平治。...

宮崎縣延岡市和富の磯島貞雄さん。...



# 家庭生活の合理化

戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。

戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。



戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。



戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。戦時生活の合理化は、戦時生活の合理化といふことゝもいふべきであらう。

### 次代國民の育て方(二)

#### III 小児の一般観察

小児が生まれたら、まづ小児科、必  
小児科に連れて行く。小児科の  
小児科に連れて行く。小児科の  
小児科に連れて行く。小児科の



小児科に連れて行く。小児科の  
小児科に連れて行く。小児科の  
小児科に連れて行く。小児科の



小児科に連れて行く。小児科の  
小児科に連れて行く。小児科の  
小児科に連れて行く。小児科の

小児科に連れて行く。小児科の  
小児科に連れて行く。小児科の  
小児科に連れて行く。小児科の



# お馬と共に育つ子ども

戦後でも戦後も馬はそれほど大切な動物であるかを今度の事象は國民によく教へてくれた

貴重な國家の資源として馬を飼へるの素質向上をはかることは、今後わが國に課された真剣な問題であるが、馬をよりよく育てあげるのも結局馬を扱ふ人々の同情ある理解と熱心さの程度如何によるものである。この意味で、新興馬産地として聞える愛知縣三河の一山村、振草村古戸に誕生した古戸少年義勇騎馬隊は、時局にふさはしい試みとして注目されてゐる

義勇といふ名も頼母しいこの騎馬隊は、すべて同村古戸小学校の高等科男生徒を隊員として結成され、村の軍用保護馬普通乗練指導員の下に月二回嚴格な騎乗訓練が行はれ、又時々一泊行軍も行はれる。隊員は、現在二十七名をかぞへ、趣味としての乗馬から一歩すすんで親身になつて馬をいたはり馬の面倒を見てゐる

蹄が汚ないと蹄叉で擦るといふ病氣になつて馬はビツコをひくやうになる。馬の衛生は蹄から。いつもきれいにしておく心がけが必要だ

撮影 梅本忠男

## 海外通信

### 吊鐘獻納運動

長期戦に備へて金銀貨幣を準備しようとするドイツは、各共産の吊鐘の献納運動が起り、信託の機構が、ドイツの吊鐘の信託の機構の管理に移された。これに對しては、代用金として、現物の代償が支持されるのは加算です。

また一戦の吊鐘、ドイツに使はれてゐる銀材も登録することになつてゐる。

### 英陸相と催涙瓦斯

スタンレー英陸相は、この間カナダ派軍隊の調成式に臨み、催涙瓦斯の製造が開始された。これは、催涙瓦斯の製造が開始された。これは、催涙瓦斯の製造が開始された。これは、催涙瓦斯の製造が開始された。

### 瑞典の戦争気構へ

スウェーデンは、中立を主張するが、最近の情勢に對しては、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

### 戦争と氣象異常

今年の夏は、今までになく異常な熱波が、石炭産地にも波及した。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

### ホケット水雷艇

アメリカ海軍は、ホケット水雷艇の試験航行を行った。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

## 航空機操縦士の採用試験

航空機操縦士の採用試験は、大體年一回行はれる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

試験は、航空機操縦士の採用試験は、大體年一回行はれる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

試験は、航空機操縦士の採用試験は、大體年一回行はれる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

試験は、航空機操縦士の採用試験は、大體年一回行はれる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

試験は、航空機操縦士の採用試験は、大體年一回行はれる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

試験は、航空機操縦士の採用試験は、大體年一回行はれる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

試験は、航空機操縦士の採用試験は、大體年一回行はれる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

試験は、航空機操縦士の採用試験は、大體年一回行はれる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。

試験は、航空機操縦士の採用試験は、大體年一回行はれる。これは、戦争の準備を進めてゐる。これは、戦争の準備を進めてゐる。



お馬と共に  
育つ子ども

人畜いれた愛馬と機織の包みを  
運に、少年達騎馬隊は今日騎馬隊  
館の日、村の馬頭観音の前に整列す  
る。三河の山家に彼岸すきても風は  
冷たい

御苦勞よ、お前も一汗かいただら  
う。さあ、晝めしだ、御つげだ。大  
休止だぞ、ゆつくり食へよ

騎馬隊はためく後を風刺と馬列  
はつづく。大體に流れて注ぐ濁流渡  
沙に敢て渡河のスキルを味はよ少年  
騎馬隊の空前あざやか



石ころの多い山路をこえ、杉木立  
の密林をぬび、騎馬隊が宿營地に脱  
鞍する頃、もう陽もとつぷり落ちて  
しまつた。腹ペコに楽しい飯食故郷  
の夕餉が待たれる

小学校の校舎をかりて宿營の夜、  
隊員は二名づつ、二時間交替で備前服  
の見張りにあたる。「背よぐつすり  
ねむれたか……」甲斐々々しく提  
灯かざして飯馬場所馬をいたはる



# 青天白日の身へ

南 京  
俘 虜 放 解 の

事變發端以來、數知れぬ支那軍  
俘虜が皇軍の下に投降して收容さ  
れた。これらの俘虜は調べてみれ  
ば多くは元々片田舎の農民で、抗  
日蔣政権の無理やりの強制徴募で  
何のために銃をとるのかその目的  
も知らず、悪運軍部隊によつて戦  
線にかりだされてゐたものである

情に動かされる日本軍は、彼等  
にも温い食をあたへ厚々と聖戦の  
意義を説き、同時に規律ある日隊  
の下に各種建設事業に彼等を協力  
させてきた  
以て、民衆も國境も超越し  
たこの日本軍の救ごころを、俘虜  
たちもいつかは感得出来ぬはずは

なかつた  
かうして釋放された多数の俘虜  
のうち、ある者は戦線に輸入さ  
れ、勇敢にも殊敵掃蕩作戦に出動  
皇軍を感激させ、又、ある者は警  
士(巡察)を志願、採用されて治  
安の維持にあたつてゐる

更生新支那が新しい發足をした  
機会に、わが支那派遣軍はこの  
かゝりかしの東亞の春を俘虜たち  
にも浴く報せ、彼らの明るい人生  
再出發を期待して、模範囚の釋放  
を行つた。こゝに紹介するのは新  
首都南京で行はれた俘虜釋放の快  
ニュースである

- 1 釋放に先だつて將來への歸郷  
を語りかけたかつての俘虜は
- 2 胸印をおして宣誓をし
- 3 身のまはりのものをまとめて
- 4 一は、私どもも社會に出てき  
つと元氣に働きます。歸郷は  
一生忘れません。御機嫌よう、  
所長殿にもお禮です。

撮影 菊地雙三郎



# タイサガラクサタイサタイサ







# 建設

強力な國家の建設は強力な國民體力の建設から……

新日本の躍進は愈々此れからです。

複合ヘーフェ菌劑はわかもとの榮養補給、體質改造作用によつて、勤勞強化、健康報國の實を擧げて、銃後産業陣をお護り下さい。

慢性胃腸病に  
諸様性疾患に  
脚氣、貧血に  
虚弱體質の人に

薬價  
一日 數錢  
廿五日量  
一円六十錢



東京芝公園  
かわとも本舖

# 胃腸榮養 とせかわ



『吾等は義勇軍』  
河内野野江  
『滿洲國の飛騨は吾等によつて』との信心の下に今年高等小學校の少年七十餘名で結成された滿洲國義勇軍少年義勇軍第十小隊は先頃豊稔富士の山麓で二日間互に互に軍訓練を行つた。

常會の自衛自戒  
岐阜市宇野大造  
岐阜市元町一丁目常會ではこの非常時局に自衛自戒、これを日常生活以上に現はさうと不動の決意を神前宣言しました。そしてその日から各自思ひ思ひに、女中廢止、禁酒、禁煙、日掛命令等それそれ益々の實をあげました。

これは新案  
非常時藥物  
東京市櫻田政務  
青少年義勇軍の幹部を養成する支隊下の滿洲國拓務部訓練所ではこのほど其のそのその馬車とも自動車ともつかない非常時藥物を考案、訓練所訪問の名士の送迎用に使用してゐる。



- ### 復習室
- 1 本號からあなたは何を學んだてせうか?
  - 2 新國民政府の成立したのは何月何日でしたか? (1頁)
  - 3 安いときに一年内に使ふ一番の木材を買つておきました。この主婦は買つておきました。ことになるてせうか? (14頁)
  - 4 花屏はどんな人に必要ですか? 生徒は? 女學生? (12頁)
  - 5 夫? (12頁)
  - 6 佛印印度支那の主な生産物三つを選んで下さい。 (10頁)
  - 7 新國民政府には行政院に海軍部があります。果して今軍艦をもつてゐるてせうか? (2頁)
  - 8 今残されてゐる樺太の海防を起點としてその終點は昆明? 重慶? 成都? 南寧? (11頁)
  - 9 スタープ、フア、パイ、主になんなん樹から作られますか? 松? 杉? 松? (13頁)
  - 10 春の山へハイキングに行くとき、その山に草が生えてゐますが、その中草になるものと毒になるものを選んで出して下さい。トリカブト、ワレン、シキマイ、イカリサウ、タンボク、テウセンアサガホ、タガトラ、スマラン、キノコノボタ、ゲンノセウコ。 (13頁)
  - 11 生れたての赤ちんが胸圍が三九センチ、頭圍が三四センチあるとすると、この赤ちんが全國の標準からみて發育はよい方てせうか? 悪い方てせうか? (15頁)
  - 12 次の傍線の部分は何のことてせうか? キレイニシテオカナイ、テイイランニナリマス。 (17頁)
- 一間十點としてあなたは何時てしたか?

### 寫眞週報(兼轉載)

昭和十五年四月十日印刷發行

編輯部 内閣情報部  
印刷部 内閣印刷局  
發行所 東京市野野江町  
東京市野野江町

★表紙  
少年の空への憧れと果てしない希望を乗せて飛べよ飛行機。丹誠こめて作つた「僕たち」のために落ちた。これに予に空を飛んで、僕の方の空も飛んで、僕の五年生、ぼくの三年生。

撮影 内閣情報部

所 込 申	價 定
内閣印刷局發行課 電話九ノ内三五一九 東京市野野江町 全圖各地官報販賣所 東都書籍株式會社 各書店、購買店 各新聞、販賣店 寫眞材、料、店	部 十錢 (送料共) ▲外圖郵便に依る地域は ▲送料共一圓九錢は ▲送料共一圓九錢は ▲送料共一圓九錢は ▲送料共一圓九錢は ▲送料共一圓九錢は ▲送料共一圓九錢は

東京新聞 昭和十五年三月二十二日 第三版(健康欄) 昭和十五年四月十日發行(第百一號)



# 兒童期の栄養に

兒童期の健康は一生を支配するものです  
頑丈な歯牙・骨格を建設するためにも  
或ひは未だか弱い皮膚や粘膜が外來の病菌  
や病蟲に喰はれぬよう 防壁を丈夫にする  
ためにもハリバが第一に必要です。



百粒三圓五十粒  
五百粒十圓五十粒



# ハリバ

兒康健は子む服。

内閣印刷局印刷發行

(「朝信報週刊」・A4格規定紙はさき大の書本)